

市では、移住に至るまでのステップ「知る（市のことを知ってもらうための情報発信）⇒来る（市に実際に来てもらい暮らしを体験）⇒住む・働く（住宅取得補助や創業支援など、市で住み・働くための支援）」に対応したさまざまな支援を行っています。今号では、市の「創業支援等空き店舗等活用事業補助金」を活用して移住された清水さんを紹介します。



INTERVIEW 移住者の声

地域の人と観光客に愛される宿を目指して

移住のきっかけは？

いつかは宿泊業で培ってきた経験を生かし、県内で旅館をオープンさせたいと考えていました。十和田市は青森県の中心に位置し、県内を巡る観光のルートとして外せないことや、十和田湖や奥入瀬溪流、八甲田山といった観光資源が魅力でした。そして、今の物件に出会えたことで、ここで事業をしようと決意しました。

移住して大きく変わったことは？

空を見る機会が増えました。日中に天気を確認したり、夜の星空を眺めたり、何気ない瞬間にふと空を見上げますね。移住したことと関係があるか分かりませんが、健康診断の結果が今までで一番良くなりました（笑）。

「創業支援等空き店舗等活用事業補助金」を活用した感想は？

内装の改修経費の一部に補助金を活用しました。十和田市で事業をやりたいと考える人にとって、このような支援は後押しになりますね。

本市を訪れる外国人旅行者が増えていますね。

当旅館に宿泊したお客様が全員、外国人旅行者の日もありました。スマートフォンの翻訳アプリなどを使い、少しでも満足してもらえるように接客しています。香港の人気旅行サイトのトップ画面に、鳶沼の朝焼けが紹介されたそうで、それを見た香港からのお客様が「これからも自然が豊富な青森県を訪れる人は増えると思う」と話してくれました。

市では、DMO設立に向けて取り組みを進めています。

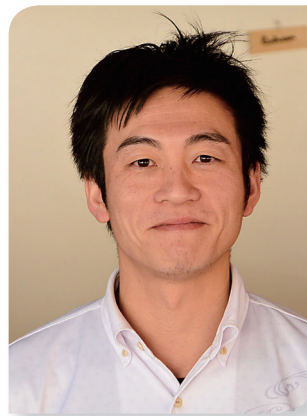
交通アクセスの強化や外国語表記の充実などの受け入れ環境の整備は、宿泊事業者だけで対応するには限界があるので、DMOを中心として連携しながら地域全体で盛り上げていきたいです。

今後の目標は？

地域の人や近くの旅館、ホテルで働く人たちが、日帰り温泉や食事に来てくれるようになってきました。そういう方々が気楽に立ち寄れる交流の場でもありたいと思っています。地域の人々が楽しく生き生きとしている観光地こそが、観光客に満足してもらえると考えています。

しみず よしのぶ
清水 慶展さん

1980年八戸市生まれ。宿泊業に従事した後、2018年十和田市に移住。旅館「奥入瀬温泉 灯と楓（あかりとかえで）」を8月にオープン。妻と子2人の4人家族。



旅館「奥入瀬温泉 灯と楓」

奥入瀬温泉 灯と楓

住所 大字法量字焼山64番地108
(十和田湖温泉郷バス停前)

電話番号 ②41102

営業日 金、土、日、月曜日(要事前予約)

焼鳥バル薪nina(にな)を併設

営業時間: 旅館営業日の午後6時~11時



※詳しくは、QRコードからご覧ください。



解放感ある手作りの空間で、まきストーブの香りと電球の温かな灯りに包まれて食事ができます。



TOWADA "HIBI" COLLECTION.
It's a pleasure to meet you. And Welcome back.



移住情報発信ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」では、清水さんが活用した「創業支援等空き店舗等活用事業補助金」などの移住支援事業の紹介や、移住者による座談会の様子を発信しています。

ぜひ、ご覧ください。

日々コレ十和田ナリ

検索